

また、公立病院の収支については、平成16年度に1億3千万円の赤字決算となり、累積では6億6千万円の赤字となっています。ただし、帳簿上の減価償却を含んで赤字となっているものは、一時借入を行うなど厳しい経営状況となっていることから、今後は、構成市町村で支援策と改善対策についての検討を進める予定です。

▼主要プロジェクトの進捗状況
こまちダムについては、福島県を事業主体に総事業費が87億



磐越道小野工とあぶくま高原道路

円で整備が進められており、うち小野町の負担割合は1・5%で負担金が1億3千5百万円です。平成18年12月には試験のために満水になる予定です。ぜひご覧下さい。また、こまちダムの水利用のため、こまち浄水場を整備しています。整備費用は8億7千万円でうち1億5千万円の補助金を受けています。右支夏井川の河川改修は、平成8年に事業の採択を受け、福島県を事業主体に整備が進められているもので、平成17年度は9千万円の事業費が計上されました。小野町としては、早期の事業進捗が図られるよう、国県への要望に努めていきます。

磐越自動車道の4車線化工事は、全区間で工事が発注され、4車線化が進められています。あぶくま高原道路は、平成22年度の完成に向けて工事が進められています。町道七生線は、平成20年度までに全線改良予定で工事を進めています。公共下水道は、環境浄化、町としての資産価値をあげるためには必要な施設と考えます。しかしな

がら、施設整備・維持管理には多額の費用負担が伴うこと、三位一体の改革により交付税削減の見極めが必要なことなど、いろいろと検討した結果、財政が安定するまで実施時期を見送ることにしました。

▼産業振興について

企業誘致を推進するために、皮籠石字鶴庭地内の旧高塚丸五綜合食品用地を競売で取得しました。この土地は、今年の1月に期間入札になり、町では入札

みなさんから寄せられた主な質問・要望・意見

◆質問

▼公立小野町地方総合病院について

「公立病院の運営状況と今後の見通しについて」「公立病院の赤字の原因は」「公立病院の民間委託は考えているのか」などたくさん質問がありました。

公立病院の赤字については、「医師の確保が厳しいことが一番の原因と考えられるが、病院を存続するためには公立運営、公設民営、民間運営の三つの選択肢があり、それらの検討もしていくが、地域医療を担っている病院であることから、医師の

に参加し、6千万円で落札しました。今後は、優良企業の誘致に努めたいと考えています。

農業については、平成19年度に国の農業政策が転換する見込みなので、認定農業者をはじめ、集落営農などを含めた担い手の育成や確保に努めたいと考えています。

▼町民に親しまれる職場づくり

町民に親しまれ、町民に信頼される職場となるよう職員には特に指示しています。行財政改

確保、患者から信頼されるよう改善に努めたい。」という趣旨の回答をしました。

▼少子化対策・学校の統廃合について

「少子化対策についてどのようになっているのか」「保育料の補助についてどのようになっているのか」「少子化に対する具体策はあるのか」「小学校の統廃合についてどのようになっているのか」などの質問がありました。

少子化対策については、「保育料の無料化などを打ち出しているところもあるが、子育てがしやすい環境づくりのための施策

革の一環として、平成18年度まで3年間職員採用を行ってきたが、平成19年度からは必要最小限の計画的な職員採用をしたいと考えています。(平成18年度に採用候補者試験を実施します。)

また、行財政改革の推進のために、庁内にプロジェクトチームを設置したいと考えています。さらに、企画部門の充実を図るため企画課として独立させ、企業誘致や情報発信に力を入れたいと考えています。

を検討し、実施していきたい。」という趣旨の回答をしました。また、学校の統廃合に関する質問には、「教育環境検討委員会の提言を受けて、教育委員会の方針のもと、本年度半ばまでに町としての方針を定める予定である。」と回答しました。

▼地方分権と合併について

「合併しないで、いつまで自主自立でいられるのか」「合併せずに自主自立でやっていけるのか」など、合併に対するたくさん質問がありました。

(次頁へ続く)